

事業の概況

経営環境と業績

●金融経済環境

当中間連結会計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、経済活動の正常化とともに緩やかに持ち直す展開となりました。この間、個人消費が行動制限の緩和とともに回復基調をたどり、企業の生産活動は供給制約などの影響を受けつつも底堅く推移しました。足元ではエネルギー・資源価格などの上昇への対応として価格転嫁の動きが幅広く波及し、今後の家計消費への影響懸念や海外の金利上昇・急速な円安進行などを背景に、景気減速リスクが意識される中で期を終えることとなりました。

●営業の経過及び成果

(連結)

(主要勘定)

預金・譲渡性預金残高は、季節要因に伴い公金預金などが減少したことにより、前年度末比1,497億円減少して8兆8,066億円となりました。

貸出金残高は、企業貸出金を中心に、前年度末比737億円増加して6兆2,138億円となりました。

有価証券残高は、株式を中心に評価差額が減少して2兆9,838億円となりました。

総資産については、現金預け金を中心に、前年度末比1兆5,701億円減少して10兆6,408億円となりました。

次に損益状況については、経常収益は、前年同期比68億62百万円増加して657億71百万円となりました。その内訳として、資金運用収益が貸出金利息を中心に、前年同期比14億1百万円増加して442億85百万円となったことに加え、その他経常収益が株式の売却により、前年同期比17億44百万円増加して24億13百万円となりました。

一方、経常費用は、前年同期比39億28百万円増加して435億52百万円となりました。その内訳として、外債のポートフォリオを改善するために債券売却損を計上したことにより、その他業務費用が前年同期比59億46百万円増加して88億2百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比29億33百万円増加して222億18百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比21億96百万円増加して159億59百万円と、いずれも過去最高となりました。

(キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少等により1兆7,848億円の支出(前年同期は3,336億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得等により639億円の支出(前年同期は141億円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いにより48億円の支出(前年同期は22億円の支出)となりました。

この結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は、前年度末比1兆8,537億円減少し、8,072億円となりました。

(単体)

預金・譲渡性預金の当中間期末残高については、前年度末比1,492億円減少して、8兆8,386億円となりました。

貸出金は、前年度末比733億円増加して、当中間期末残高は6兆2,223億円となりました。

有価証券は、前年度末比547億円減少して、当中間期末残高は2兆9,873億円となりました。なお、このうち時価会計に伴う評価差額(含み益)は、前年度末比1,245億円減少して、当中間期末現在で7,566億円となっております。

次に損益状況については、経常利益は前年同期比29億77百万円増加して207億58百万円となり、中間純利益は前年同期比22億62百万円増加して150億73百万円となりました。

主要な経営指標の推移

●連結経営指標

(単位：百万円)

	2020年度中間期	2021年度中間期	2022年度中間期	2020年度	2021年度
連結経常収益	55,077	58,909	65,771	108,156	127,422
連結経常利益	15,375	19,285	22,218	23,765	29,176
親会社株主に帰属する中間純利益	10,930	13,762	15,959	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	16,860	20,621
連結中間包括利益	193,265	6,207	△69,500	-	-
連結包括利益	-	-	-	337,633	△70,512
連結純資産額	1,026,020	1,172,166	1,015,987	1,168,153	1,090,316
連結総資産額	10,791,468	12,547,384	10,640,807	12,273,908	12,210,967
連結ベースの1株当たり純資産額	13,535.56円	15,461.63円	13,472.00円	15,413.67円	14,465.91円
連結ベースの1株当たり中間純利益	144.61円	182.00円	212.26円	-	-
連結ベースの1株当たり当期純利益	-	-	-	223.03円	272.82円
連結ベースの潜在株式調整後1株当たり中間純利益	144.47円	181.82円	212.08円	-	-
連結ベースの潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-	-	-	222.78円	272.55円
連結自己資本比率（国内基準）	11.38%	12.00%	12.50%	11.72%	12.11%
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,970	333,659	△1,784,879	1,437,527	37,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	131,021	14,162	△63,932	82,176	66,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,270	△2,271	△4,889	△4,538	△4,918
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,403,351	2,907,347	807,208	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	-	-	-	2,561,796	2,660,909
従業員数	3,651人	3,645人	3,602人	3,553人	3,521人

●単体経営指標

(単位：百万円)

	2020年度中間期	2021年度中間期	2022年度中間期	2020年度	2021年度
経常収益	50,333	53,865	60,570	98,086	117,039
うち信託報酬	4	5	3	12	11
業務純益	13,496	17,656	20,577	26,763	28,921
経常利益	14,032	17,780	20,758	20,625	26,084
中間純利益	10,149	12,811	15,073	-	-
当期純利益	-	-	-	14,878	18,718
資本金	42,103	42,103	42,103	42,103	42,103
発行済株式総数	75,840千株	75,840千株	75,840千株	75,840千株	75,840千株
純資産額	1,010,199	1,152,615	994,323	1,149,793	1,069,959
総資産額	10,778,035	12,533,014	10,623,688	12,256,073	12,196,727
預金残高	7,529,506	8,074,423	8,201,144	7,996,106	8,319,783
貸出金残高	6,019,608	6,031,079	6,222,317	6,069,212	6,148,969
有価証券残高	2,997,494	3,212,588	2,987,399	3,232,904	3,042,173
1株当たり配当額	30.00円	35.00円	60.00円	60.00円	100.00円
単体自己資本比率（国内基準）	10.96%	11.50%	11.96%	11.24%	11.59%
従業員数	3,485人	3,476人	3,429人	3,380人	3,345人
信託財産額	3,875	4,524	4,497	4,170	4,533
信託勘定貸出金残高	-	-	-	-	-
信託勘定有価証券残高（信託勘定電子記録 移転有価証券表示権利等残高を除く。）	-	-	-	-	-
信託勘定電子記録移転有価証券表示権利等残高	-	-	-	-	-

(注) 1. 2020年5月1日付の銀行法施行規則の改正に伴い、2020年度中間期より「信託勘定有価証券残高」に含まれる「信託勘定電子記録移転有価証券表示権利等残高」を区分して表示しております。

2. 2021年度中間期の1株当たり配当額35円のうち5円は創立80周年記念配当であります。